

ご自由にお持ち帰りください



公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

NEWSaka

2017.4
No.18

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝



病棟から塩釜神社方面を展望する

- 1 写真（病棟から塩釜神社方面を展望する）
- 2 坂総合病院市民公開講座（2/25）
- 3 臨床倫理学習会（3/11）
- 4 職場紹介（7階病棟）
食養室管理栄養士から（11回目）
- 5 患者満足度調査結果
シリーズ10回目リハビリ室のお仕事
- 6 開業医ご紹介 小鷹日出夫先生（おだかクリニック）
- 7 4月外来診療案内
- 8 インフォメーションほか

病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、
共感・協同・平等・安全の
医療をめざします。



◇テーマ：「肺がん」と「緑内障」

2月25日（土）の午後、多賀城文化センター展示室において、地域住民約150人が参加し、標記テーマで市民公開講座が開催されました。坂総合病院が主催し、多賀城市、東北大学医学部眼科教室、（公財）東北大学アイバンクに後援していただきました。



はじめに内藤孝坂総合病院院長があいさつしました。『今期4回目ですが、多賀城市では初開催です。当院は救急医療が中心とされているようですが、がん治療にも力を入れた診療体制をとっています。また、眼科も4月から常勤医配置が確定しています。本日はそれぞれの講演を聴いていただき、当院が今後とも地域の方々に少しでもお役に立てるようがんばって参る所存です。よろしくお願いいたします。』と述べました。



◇講演1：『肺がんの最新の治療について』

講師／渡辺 洋先生（坂総合病院呼吸器科科長）

まず「肺がんとは」として、肺がんの症状、検査・診断の流れをフローチャートやCT・PETなどの写真で示し、また、病期分類として、I期～IV期の説明（II期までは手術有効）がされました。

「最近ではプレジジョン・メディシン（精密医療）の時代です!」として、肺がんの組織分類（細胞の形）についてふれ、遺伝子検査として「がん細胞」の遺伝子を調べることの説明がありました。

治療方法の種類として①手術（胸腔鏡手術の目的）②放射線治療（ただし陽子線治療は保険外）③抗がん剤や今話題の高額薬オプジーボの紹介では非小細胞肺がん（IV期）の薬物療法、治療

の原則の事など⑤緩和治療について、順番に説明されました。

免疫療法の今後の課題として、分子標的薬の効果は高く改善（長生き）できるようになったが、高い医療費の問題があること、効果がない例の方が多などあるが、新たな薬剤（キートルーダ）の紹介もされました。

また、NHKスペシャルの「がん治療革命が始まった」で当院も紹介（登録）されたスクラムジャパン（宮城県内は3施設）も報告されました。

そして、『当院では、通常の検査も調べられる以外の遺伝子も積極的に検索しており、最先端の肺がん治療を提供していきたい。』と結びました。

「臨床倫理学習会」を受講して

◇テーマ：「臨床研究における倫理について」

◇講師：大北 全俊 先生

（東北大学大学院医学系研究科助教授）



臨床研究に関わるガイドラインを
正しく理解し、指針遵守を

診療サービス課 石川 信子

3月11日（土）午後、大北全俊先生（東北大学大学院医学系研究科助教授）をお招きして、坂総合病院教育ステーションにて臨床倫理学習会が開催されました。昨年に引き続き2回目の開催となった今回も、医師、看護師、リハビリスタッフ、検査技師など多職

種の方々の参加がありました。

医療従事者の責務
「患者の最善の利益のために行為する」

「医療倫理」というどうしても敬遠しがちなテーマですが、医療者という立場で臨床研究を行なうにあたっては、正しい理解が求められます。医療者が研究者になるということは、医療従事者としての責務「患者は目的、患者の最善の利益のために行為する」と、研究者としての責務「被験者は手段となり、患者の治



◇講演2：『アイバンクの役割について』

講師／横倉俊二先生（東北大学医学部眼科学教室講師、東北大学アイバンク理事）

はじめに、「角膜はどこにある？」として、角膜の構造など説明されました。そして、角膜の感染症のことや、治療が遅れてしまった場合のこと、角膜移植はどのように行なうのか、またその歴史なども報告されました。角膜パーツ移植の実例が写真で紹介され、最近の角膜移植について、角膜内皮移植術や角膜再生医療など説明されました。そして、アイバンクの具体的活動につ

いて以下の内容が紹介されました。非営利機関で、角膜移植幹旋活動、献眼啓発活動、献眼登録から提供までの流れなど。

課題としては、新規登録者数の不足、献眼数の絶対的不足、慢性的な国内ドナー不足、財政が困難など述べられ、アイバンクへの多くの方の理解と協力を強調されました。

会場風景



◇講演3：『緑内障から自分を守るために知っておくべきこと 9割の人が気づかない目の病気～緑内障の対策と治療～』

講師／中澤 徹先生（東北大学医学部眼科学教室主任教授）

①「緑内障とはどんな病気なのか？」と問い、失明原因の第1位が緑内障で、毎年増えており、高齢化・近視化・生活スタイルの変化などが要因としてあり、さらに増が予想されているとして、視神経に陥没ができ、部分的に見えなくなる症状など眼球の構造図で説明されました。緑内障の治療について、完治することは困難で現状維持が目的となるとして、緑内障点眼治療薬について述べました。問題点としては、つけ忘れがあり、一滴を確実に点眼し継続することの大切さが強調されました。

②「どうして気づけないのか？」について、視野

異常はどのように見えているのか説明されました。視野が狭くなり、長い時間をかけてゆっくり進行するので自覚症状が弱いことなど述べ、両目で見える意義は補い合って補正されることであり、日頃から片目で見え方をチェックすることの必要性も述べられました。

③「健診の重要性」について、どんな方がなりやすいかとして、家族に緑内障の方がいる、眼圧が高い、高齢の方、強い近視の方は要注意と述べ、『40歳を過ぎたら定期的に眼科検診を受けることをおすすめします。』と述べました。

療は目的ではない。研究の目的は科学知識の進歩である」の相反が生じることを認識しておかなければなりません。

紹介された過去の事例では、日本国内のある病院で、説明・同意取得もせずに、術後の患者に対してある決まった鎮痛薬を投与し効果を調べる臨床研究を行なうというものがありません。この事例はまさに、「患者の治療」が目的ではなく、「鎮痛薬の効果を調べること」が目的となっています。鎮痛薬は承認薬であり、関係者は通常の医療行為の範囲で行なっているという認識だったそうです。「研究と診療を区別する」正しい理解が必要となると感じました。

あってはならないことを防ぐために私たちができること

過去に起こった医学研究の事件の中には、社会的弱者を対象とした研究が多くあることも改めて感じました。

感染性肝炎の感染力を研究するために、知的障害児施設の入所者を人為的に肝炎に罹患させた例や、

ユダヤ人慢性疾患病院の慢性疾患患者（ほとんどが認知症）に対して、がんに対する免疫システム研究のために生きたがん細胞を22名の被験者に注射された例など、耳を疑うような出来事が起こっています。このような、あってはならないことを防ぐために私たちができること、それはやはり、研究に携わる研究者・研究実施の可否を判断する倫理審査委員が、臨床研究に関わるガイドラインを正しく理解し、指針を遵守することです。

2015年4月に厚労省より公布された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が今年5月に改正されます。個人情報保護法改正に伴う用語の定義、インフォームド・コンセント手続き、試料・情報提供に関わる義務などが改められます。

今回の学習会で、改めて倫理の重要性、指針遵守の理解を確認しました。改正された指針を正しく理解し、今後の適切な臨床研究審査に活かしていきたいと思えます。



7階病棟スタッフのみなさん

7階病棟は、消化器疾患及び内科一般の疾患を持つ患者様が入院しています。

ベッド数は48床あり、医師5名・看護師22名で日々の治療・看護に当たっています。

緊急で入院される患者様もとても多く、少しでも不安な気持ちに寄り添い、安心して入院生活が送れるように手助けをさせていただいています。

病棟の特徴としては、消化器の疾患は口からお尻ま



7階病棟のマスコット「ラスカル」

でとても幅広く、それに伴い検査や処置は他科よりもはるかに多くあります。

病棟の看護師が介助につく検査・処置も多く、病棟スタッフや他部署の協力も得ながら日々の業務を行なっております。

また、癌患者様も多いため緩和医師と緩和認定看護師の助力を得ながらターミナル期の患者様が残された時間を気持ちよく過ごしていただけるよう緩和ケアに取り組んでいます。

バタバタと忙しい病棟ではありますが、スタッフ一人ひとりが常に明るさを絶やさず、笑顔で患者様に対応できるように職員一同心がけています。



坂総合病院食養室 管理栄養士から

管理栄養士 鈴木 亜紀

第十一回

地球にやさしい『エコ・クッキング』PART 1



「エコ・クッキング」とは、エコロジー・クッキングの略で、私たちの食生活と自然環境とが密接であることから、“地球への思いやりはキッチンから”という考えのもとに推奨されている運動です。調理段階（クッキング）での配慮、買い物（ショッピング）の際の心がけ、台所（キッチン）での気配りなどから成り立っています。

クッキングの工夫

①**新鮮なうちに常備菜、乾燥野菜に。**～大根の葉やしその葉などの野菜をすぐ使わない時や使い切れない時は、電子レンジなどを利用してふりかけや乾燥野菜を作り、乾燥剤を入れて常備します。緑の葉の乾燥品は冷蔵所（冷蔵庫）に保存すれば色がきれいに残ります。

②**食べられるところは捨てないで。**～○**昆布、かつお節、煮出しなどのだしから**→だしをとり終わっても、まだ栄養素が残っているので、昆布で佃煮、かつお節でふりかけ、煮出しで田作りなど

作りましょう。○**野菜の皮や芯**→きれいに洗ったにんじん、大根、れんこん、セロリなどの皮できんぴらを、残った野菜とキャベツの芯でポタージュやスープを作りましょう。○**魚の骨やえびの殻**→いわしやあじなどの比較的小さい魚は、丸ごと食べられる南蛮漬けや圧力鍋を使って煮ると骨ごと食べられます。エビの殻は佃煮などにするとよいでしょう。

③**もっと無駄なく使おう。**～○**食材は全部使う**→野菜だけでなく、イカなどの内臓も新鮮なものであれば、塩辛や焼き物、煮物に使えます。○**残ったおかずでリサイクル献立を**→残ったおかずを温め直して食べるのはもとより、ひと手間かけて違う料理に作り変えてみましょう。○**調味料の使い回しを**→例えば、そうめんつゆを煮物や和え物、炊き込みご飯の味付けやドレッシングに利用し、少しずつ残る調味料を上手に使い切りましょう。それは調味液を作るための熱エネルギーの節約にもなります。

「2016年度患者満足度調査結果」のご紹介

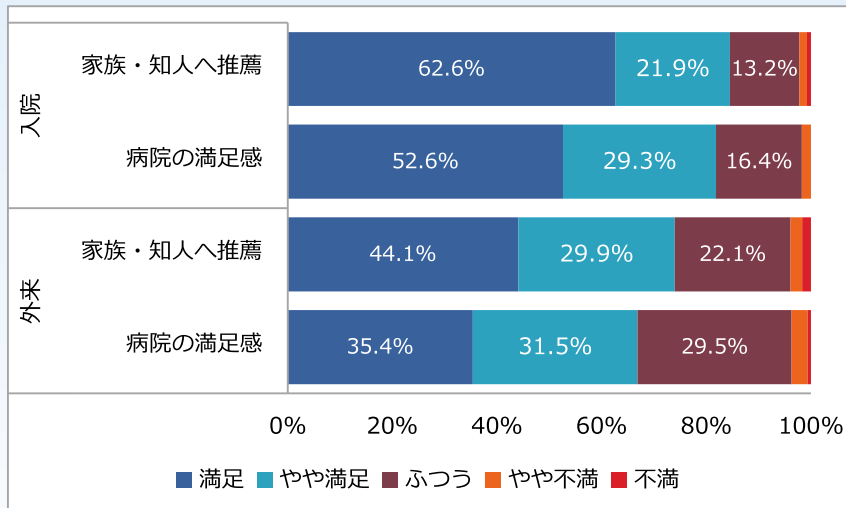
●調査概要

〈入院 坂総合病院〉

◆調査期間：2016年10月3日（月）～11月11日（金） ◆回答者数：305人

〈外来 坂総合病院・坂総合クリニック〉

◆調査期間：2016年11月15日（火）～11月17日（木） ◆回答者数：675人



当院では、患者さまの病院に対する評価を把握するために毎年1回満足度調査を行なっています。いただいたご意見を真摯に受け止め、医療サービスの改善および質の向上のために努力することで、より一層の期待に応えられる病院づくりを目指したいと考えています。

調査へのご協力ありがとうございました。



回復期リハ病棟カンファレンス風景

2016年から病棟スタッフとセラピスト^(*)が定期的に病室に集まり、患者様の目標を検討・共有する「目標共有カンファレンス」を開始しました。着替えができるか？トイレができるか？料理ができるか？など個人の能力や見込まれる目標を確認し、必要に応じて動作確認、介助方法を統一し、可能なかぎり患者様の自立をサポートしていきます。

病院のスタッフがどのような生活を想定しているか伝える機会の一つになり、病棟スタッフ・セラピスト、そして患者様自身が、現在の状況を把握・確認する場となります。リハビリ時間以外の生活時間の過ごし方も見えてきます。まだまだ発展途上ですが、同じ空間

を関わるスタッフ・患者様で共有し、患者様参加型の坂病院ならではの回復期リハビリテーション病棟を目指したいと考えています。



一人暮らしに向けて作業療法士と調理訓練

*セラピスト→リハビリテーション業務に関わる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士。

院長 小鷹 日出夫 先生

Hideo Odaka

おだかクリニック (多賀城市中央)

内科・循環器科



“循環器疾患を中心にていねいな診療を モットーにしています”

81年東北大学卒業後、東京の榊原記念病院での研修を挟んで23年間坂病院で勤務しました。90年～2000年の間は循環器の科長を務めました。その時期に坂病院で緊急透析の導入、ICU・胸部外科の開設、PTCAの開始が有り充実した毎日でした。92年には心筋梗塞の患者数が88人で県内トップだった事もありました（宮城県心筋梗塞対策協議会データ）。スタッフに恵まれ忙しくも楽しい日々でした。



2004年に多賀城市の市役所や文化センターの近くに循環器のクリニックを開設しました。開業して早や14年目を迎えます。開設当初から坂病院

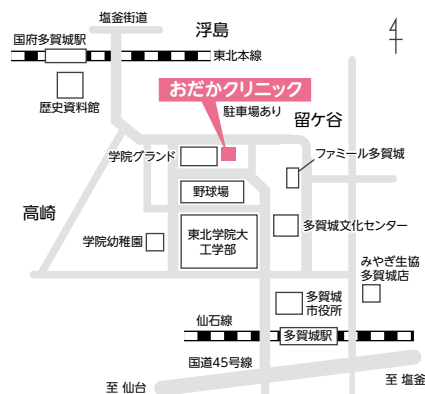
時代からの患者さんがたくさんいます。看護師さんも皆元坂病院職員です。日頃坂病院各科に検査や入院と患者さんを多数紹介し大変お世話になっています。ここ数年「紹介患者数トップ」だそうです。

坂病院は心強い連携病院です。他院との連携や患者さんへの情報開示の意味もあり、当院では開業当時からかかりつけの患者さんに「マイカルテ」をお渡ししています。病状や治療経過、検査結果などを記載した小冊子です。急病などで他院受診時に「マイカルテ」を紹介状代わりに提示する事をお勧めしています。

内科・循環器内科

おだかクリニック

〒985-0873 多賀城市中央一丁目16-6
TEL 022-309-4970 FAX 022-309-5444
HP: <http://odakacl.com>



外 来 診 療 案 内

2017年4月

坂総合病院（本院）

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	午前	○				○		
	午後					○		
神経内科	午後	○						
消化器科	午前	○	○	○	○	○		
リハビリテーション科	午前		○	○	○	○		
	午後	○						
末梢血管外来	午前	○	○					
甲状腺外来	午後		○診療日隔週					

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承ください。

総合病院 院長 内藤 孝 電話 022-365-5175(代)

坂総合クリニック1号館

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
外科	午前	○	○	○	○	○		
腎臓内科	午前			○				
整形外科	午前	○	○	○				
	午後	○		○				
泌尿器科	午前	○	○		○	○	○診療日隔週	
形成外科	午前	○		○				○診療日隔週
	午後		○			○		
耳鼻咽喉科	午後	受付13:00～16:00		受付13:00～16:00			受付8:30～11:30	
産婦人科	午前	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診 ○11:30迄	妊婦健診 ○	妊婦健診～11:30迄 ○	○	
	午後	○ 妊婦健診				妊婦健診		
精神神経科	午前	○	○	○	○	○	○診療日4/15予定	
	午後			○		○		
眼科	午前	○	○	○	○	○	○診療日隔週	
	午後		○診療日隔週	○				
皮膚科※	午前		○			○	○診療日隔週	
	午後		○14:30～16:00			○14:30～16:00		
血液科	午後		○			○		
禁煙外来	午後			○診療日隔週				

＜各科外来受付時間＞

●午前
新患8:30～11:30
再来8:30～11:30

●午後
予約制となっています

※皮膚科の診療は医師体制上の都合により、予約外の方は緊急性のある方以外はお受けできません。ご了承下さい。

坂総合クリニック2号館

※内科一般外来は午前からのみの診療となります（午後は休診となります）。

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後							
糖尿病代謝科	午前	○	○	○	○	○	○診療日隔週	
	午後	○	○		夜間外来			
循環器科	午前	○	○	○	○		○月1回	
	午後		○		夜間外来(高血圧)	ペースメーカー外来 診療日隔週		
呼吸器科	午前	○		○		○	○月1回	
	午後	○	○	○		○		
緩和ケア科	午前				○			
漢方科	午前	○	△	△		○	○月2回	
	午後	○	△	△	△夜間外来	○		
高脂血症外来	午前			○				
心臓血管外科	午後			○		○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後	予防接種 受付13:30～14:30		育児検診				

●当院の外来は全面予約制ですので、来院前にお電話下さい。漢方は診療変更が多い日を△にしています。

電話番号：予約コールセンター 022-361-8288

電話予約受付時間：平日8:30（小児科のみ8:00から開始）～16:30、土曜日8:30（小児科のみ8:00から開始）～11:30

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承お願いいたします。

坂総合クリニック 所長 高橋 洋 電話 022-361-7011(代)

脳ドック・脳検診のご案内

早期発見で脳卒中を予防

検査時間と検査内容・料金		
検査項目	脳ドック	脳検診
検査時間	120分	30分
問診	○	○
脳MRI	○	○
脳血管MRA	○	○
頸部血管MRA	○	○
頸部血管エコー	○	—
身体・血圧測定	○	—
血液検査	○	—
尿検査	○	—
心電図検査	○	—
胸部レントゲン	○	—
料金(税込)円	37,800	18,360
友の会(税込)円	34,020	16,524
結果説明	医師	医師



脳ドック (予約制)
: 金曜午後1時半

脳検診 (予約制)
: 日程相談

結果説明
: 約4週間後に医師から



MRI検査は、人体に放射線を照射することなく脳や脳血管の状態を評価することができる検査です。

脳梗塞や脳出血、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤などをみつけることができます。
※体に金属が入っている方は検査できない場合があります。お問い合わせください。



お申し込み 坂総合病院 健康管理室
お問い合わせ TEL(直通) 022-367-9053

坂総合病院 脳ドック・脳検診のURLはこちら
http://www.m-kousei.com/saka/guide/brain_dry-dock.html

当院の脳ドックは日本脳ドック学会ガイドライン2014に準拠しています

地域医療連携センターから

○紹介の状況

	紹介数	逆紹介数
2016年11月	717	832
12月	577	1371
2017年 1月	502	806
2月	531	754

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。
※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。

お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。
尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療
ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

《開設時間》

●平日 / 8時30分～17時 ●土曜日 / 8時30分～12時30分

TEL 022-361-4700

※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

TEL 022-361-8288

平日(月～金) : 8時30分～16時30分
(小児科のみ8時から開始)

土曜日 : 8時30分～11時30分
(小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。
※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院
代表番号にお電話をお願いします。



●電車をご利用の場合
JR仙石線・下馬駅下車 (駅前が病院です。)

●お車をご利用の場合
以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力お願いいたします。

編集後記

新年度となり就職したばかりの新人職員が研修中で院内を右往左往する日々が続いています。ベテラン職員には当たり前のことが、新人職員には初めてのことがばり。これからの医療を支える新人職員を暖かく見守り、育てていくことが先輩には求められていると感じます。地域の皆様とのふれあひも初めてになります。皆様からの暖かい励ましとともに、的確な指導をいただきながら、医療人の成長にご協力いただければ幸いです。今号では、小鷹日出夫先生にもご協力いただきクリニックのご紹介をさせていただきました。これからも、登録医の先生方のご紹介と当院の情報を併せた紙面提供をさせていただきますので皆様よろしくお願いたします。(K.I)

公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5

電話 022-365-5175 (代表)

FAX 022-365-3620

<http://www.m-kousei.com/saka/>

